

武蔵野局 集配部の皆さん ご存じのことを教えてください

私たちの長男、飯島淳は、今年7月20日自宅で突然亡くなりました。武蔵府中局から異動してわずか10カ月。その間に何があったのでしょうか。

転勤してしばらくの間、不慣れなため班でただ一人帰局が遅くなっていたといいます。前任局ではなかったことで、当人には相当なショックだったようです。

昼休みも満足にとれていなかったようです。昼食も取れなかった時たとえば喫煙所ではどんな会話やグチが交わされていたのでしょうか？

通区が早すぎるとこぼしていました。早すぎる通区で心身ともに苦しんでいた時の仕事ぶりや様子、表情はどうだったのでしょうか。

仕事上のミスやお客さまとのトラブルなどありませんでしたか？

朝の局内作業中、淳は冷や汗をかきながら「心臓がパクパクする。」と訴えたそうです。その後「大丈夫です。」と言って配達に出たと聞いていますが、その日も1時間以上の残業でした。

解剖にあたった医師は淳の死後、その時のことを「狭心発作の症状」と説明しています。その時淳はどんな顔色だったのですか？夏の盛りです。つらかったに違いありません。

部長は「帰ってもいい、段取りはしてある。」と言ったといいます。本当に帰れたのですか？7月8日の月曜日、どの区も大変な7班の中で帰れる体制は取れていたのでしょうか？

**絶対にご迷惑はおかけしません。
本当のことを知りたいのです。**

連絡先 (文責) 飯島栄博 090-6136-2689

発行 2024年12月20日

国立市中1-18-30 全国一般三多摩労働組合

042-571-1953 福田 健一